

パブリックコメント 集計状況

平成 28 年 1 月 19 日

○受理件数：8 件

(内訳)

受領手段	件数
持参	1 件
郵送	2 件
E-mail	1 件
FAX	2 件
ホームページ	2 件
合計	8 件

○パブリックコメント意見

基本計画該当箇所	意見数
新庁舎の整備について	6
その他（基本計画の内容以外のもの）	2 0
合計	2 6

<対応状況>

同様な趣旨が掲載済：6 件
修正が必要なもの：0 件
却下：0 件

<意見の概要 ※（ ）内はその意見数>

新庁舎の整備について

- ・市民サービスに関わる機能（基本計画 13、14 ページ）
- ・ユニバーサルデザイン・バリアフリー（基本計画 19 ページ）
- ・庁舎の規模（基本計画 20、21 ページ）

その他（基本計画の内容以外のもの）

- ・建て替えの必要性に関すること
- ・災害等への対応に関すること
- ・市民周知・意見に関すること
- ・その他

新庁舎の整備について

分類	意見（要約）	意見に対する考え方
市民サービスに関わる機能	市民プラザの分室的なもの（老若男女が楽しく学べる生涯学習施設）、国際化協会、まちかど研究室の移転し、交流サロンを設ける、二大学のサテライトキャンパスなど賑わいを創出できるものを。	（基本計画 13・14 ページに掲載） 新庁舎には、新たに交流機能を整備し、賑わいの創出を図りたいと考えています。
	市民交流スペースは具体的にどういったものを計画しているか。	（基本計画 13・14 ページに掲載） コンビニや売店、ATM、キッズスペースのほか、休憩や待合せなど、誰でも気軽に利用できるスペースを考えています。また、シティセールスの側面から情報発信機能も検討しています。
	バスの待合所がなく、困る。時間を待てるコーナーがほしい。	（基本計画 13・14 ページに掲載） 休憩や待ち合わせなど、誰もがくつろげ、気軽に利用できるスペースを配置したいと考えています。
ユニバーサルデザイン・バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> ・おしゃれで暗いのではなく、障がい者にも優しい照明にしてほしい。 ・障がいのある方、高齢者やその家族、介助者を集め、トイレのモデルルームを。 ・料理をしたことない人に台所を作らせない、子育てしたことのない人にキッズルームやトイレを作らせないでほしい。 ・設計者や職員は、障がい者体験をしてほしい。 ・トイレに荷物を置く台や杖を置くものがほしい。 ・障がいのある方に配慮した、色使い・案内の整備をしてほしい。 ・ひとつのフロアに違う課が隣り合っていると分かりづらいので、色分けしてほしい。 ・簡素な押し車の設置をお願いしたい。 	（基本計画 19 ページに掲載） 年齢、性別、障害の有無に関わらず、全ての人が安全に利用できるユニバーサルデザイン（バリアフリー含む）に配慮した庁舎を目指しています。 具体的な内容については、設計において検討したいと考えます。
庁舎の規模	マイナンバー制度の導入や情報機器の活用により、事務や作業の効率化が可能であり、組織を見直し、本庁舎はコンパクトなものにすべき。	（基本計画 20・21 ページに掲載） 簡素で機能的な庁舎を目指しています。
	新庁舎の建設理由の一つに現庁舎が狭いとあるが、具体的な根拠は。完成とされる平成 32 年以降も同じ職員数を考えているのか。	（基本計画 20・21 ページに掲載） 県内他市や国の基準と比較して、現庁舎の職員一人当たりの面積は少ない状況にあります。また、将来の職員数については、今後の推移を勘案して想定しています。